

令和5年第2回三重県議会定例会 医療保健子ども福祉病院常任委員会

説 明 資 料

	頁
【 所 管 事 項 説 明 】	
1 三重県病院事業 中期経営計画 令和4年度の取組成果について	1
2 令和4年度三重県病院事業決算の概要について	6

令和5年6月23日

病 院 事 業 庁

1 三重県病院事業 中期経営計画 令和4年度の実績について

◀ 病院別の取組成果 ▶

こころの医療センター

中期経営計画における令和4年度の実績と目標

目標項目	R2実績	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標
(1) 精神科救急・急性期医療の提供					
精神科救急患者受入件数 (件)	154	178	230	117	180
(2) 専門的医療の提供					
認知症入院患者数 (人/日)	28.7	26.4	40.0	29.2	40.0
アルコール依存症入院患者数 (人/日)	25.9	19.4	30.0	15.8	30.0
精神科早期介入対応件数 (件)	173	235	200	192	200
(3) 地域生活を支えるための支援					
デイケア・ショートケア延べ患者数 (人)	8,474	9,911	12,500	10,125	12,500
訪問看護延べ患者数 (人)	4,161	4,231	5,000	4,317	5,000
入院後1年以内の患者退院率 (%)	93.8	100.0	95.0	90.7	95.0
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数 (件)	7	8	9	9	9
こころしっとこセミナー開催件数 (件)	28	35	35	40	35
(4) 人材育成の充実					
研修医・看護実習生等受入延べ人数 (人)	1,904	1,835	2,200	1,968	2,200
人材育成研修回数 (回)	5	6	5	6	6
(5) 業務改善の推進					
危機管理研修等参加率 (%)	99.6	99.7	94.0	100.0	95.0
患者満足度 (%)	86.2	87.4	94.3	86.9	94.3
(6) 経常収支比率・医業収支比率の向上					
経常収支比率 (%)	110.6	127.5	101.6	113.9	99.4
医業収支比率 (%)	58.8	55.2	62.8	54.8	65.2
(7) 患者数の確保に向けた取組					
1日平均入院患者数 (人/日)	222.8	189.9	230.0	187.1	230.0
1日平均外来患者数 (人/日)	178.5	187.5	200.0	187.1	200.0
(8) 医師・看護師の確保					
医師充足率 (%)	84.2	79.8	100.0	78.4	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

令和4年度の実績

○新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」)への対応については、入院病床を確保して精神疾患等を有する感染患者(疑い患者を含む。)を受け入れました。また、臨時応急処置施設等に医療人材を派遣しました。

- 「三重県精神科救急医療システム」の支援病院として、休日・時間外等の救急患者の受入れ（117件）や保健所からの要請による措置診察（78件）に対応しました。
- 認知症治療の充実を図るため、脳神経内科専門医とともに多職種が連携し、もの忘れ専門外来（週3日、延べ1,182人）や専門病棟（入院29.2人/日）による治療を提供しました。
- アルコール依存症治療においては、専門性の高いプログラムを用いた入院治療等（入院15.8人/日、外来延べ2,879人）を提供しました。また、ギャンブル依存症治療においては、全6回（月1回）からなる回復プログラム（集団プログラム）を運用しています。（令和3年10月～）
- 院内に設置しているユース・メンタルサポートセンター（YMSC）MIEにおいて、若年層やその家族等からの相談（新規192件）に対応するとともに、学生、教員、保護者や関係機関を対象に研修会（12回）を実施しました。
- 患者の地域における生活を支援するため、外来患者に対するデイケア・ショートケアサービス（延べ10,125人）や、入院患者に対するリハビリテーションとしての作業療法（延べ19,562人）、在宅療養支援のための訪問看護サービス（延べ4,317人）を提供しました。
- 精神科専門医の育成及び将来的な医師確保を図るために策定（令和2年10月）した精神科専門医研修プログラムにおいて、専攻医2名を受け入れました。
- 決算においては、新型コロナの患者を受け入れるための病床確保に係る国からの交付金（医業外収益）の減額等により、経常損益の黒字幅は減少したものの、3年連続の黒字となりました。（経常損益：R3 +879百万円→R4 +450百万円（△429百万円））

残された課題、今後の取組方向

- 新型コロナ感染患者を受け入れた経験を活かし、今後必要となる通常診療と感染症対応の両立を実現するため、個室化の更なる推進とゾーニングの最適化を図ります。
- 精神科救急・急性期医療では、今後も救急患者の受入れや措置診察の要請に的確に対応します。
- 認知症治療については、専門外来と専門病棟による切れ目のない効果的な治療を引き続き提供するとともに、関係機関と連携しながら認知症治療が必要な患者を積極的に受け入れるなど、患者数の増加に向けて取り組みます。
- アルコール及びギャンブルに係る依存症治療については、それぞれの治療拠点機関として、専門プログラムに基づいた治療や研修・普及啓発に取り組みます。
- デイケアサービスについては、引き続き、利用者の日常生活や就労面への支援を行います。
- 専門医研修プログラムにより精神科専門医の取得を希望する専攻医を積極的に受け入れて人材育成に取り組むとともに、将来的な医師の確保につなげます。
- 新型コロナの影響等により患者数が減少し、新型コロナ発生前と比べ入院・外来収益が減少していることから、病床管理の徹底や医療・福祉関係機関との連携の強化等により患者数の確保を図り、経営改善に取り組みます。

一志病院

中期経営計画における令和4年度の目標と実績

目 標 項 目	R2 実績	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標
(1) 地域医療の推進					
訪問診療、訪問看護等延べ患者数 (人)	4,938	5,007	4,800	4,820	4,800
住民健診、人間ドック、がん検診受検者数 (人)	1,361	1,068	1,400	984	1,200
救急患者受入件数 (件)	877	740	900	655	800
医療過疎地域等への支援件数 (件)	4	3	5	3	5
多職種連携による取組件数 (件)	13	10	15	13	15
(2) 人材育成の充実					
研修医・医学生受入延べ人数 (人)	318	415	500	408	500
看護実習生等受入延べ人数 (人)	48	303	330	380	350
学会、研修、カンファレンス等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進					
学会、論文等発表件数 (件)	10	20	30	18	20
(4) プライマリ・ケアセンターへの支援					
プライマリ・ケア研修会開催件数 (件)	3	3	3	3	3
(5) 業務改善の推進					
夢プロジェクト開催回数 (回)	12	12	12	12	12
危機管理研修等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
患者満足度 (%)	99.0	95.0	96.6	96.8	96.6
(6) 経常収支比率・医業収支比率の向上					
経常収支比率 (%)	120.0	117.3	106.3	113.7	107.8
医業収支比率 (%)	76.6	74.0	70.0	70.8	66.7
診療報酬検討会開催回数 (回)	12	12	12	12	12
(7) 患者数の確保に向けた取組					
1日平均入院患者数 (人/日)	36.3	34.8	36.0	33.0	36.0
1日平均外来患者数 (人/日)	74.5	71.1	72.0	65.7	68.0
(8) 医師・看護師の確保					
医師充足率 (%)	80.1	95.8	100.0	96.8	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

令和4年度の実績

○新型コロナへの対応については、後方支援病院として退院基準を満たした回復患者を受け入れるとともに、令和5年1月からは、入院病床を確保して感染患者を受け入れました。また、臨時応急処置施設に医療人材を派遣したほか、検査、発熱外来、ワクチン接種を実施しました。

- 地域の幅広い医療ニーズに対応できるプライマリ・ケアを実践するとともに、通院が困難な患者に対する訪問診療(延べ997人)や訪問看護(延べ2,917人)、訪問リハビリテーション(延べ845人)等の在宅療養支援、住民健診(472人)や人間ドック(103人)、がん検診(409人)等の予防医療に取り組みました。
- 初期救急医療を担う医療機関として24時間365日の救急受入体制のもと、救急ホットライン(消防から医師への直通電話)や外来ホットライン(診療所等から日当直看護師への直通電話)も活用しながら、救急患者(655件)を受け入れました。
- 地域における保健・医療・福祉の連携会議や健康啓発事業等の様々な活動を通じて多職種連携の強化を図り、地域包括ケアシステムの構築を支援しました。
- 院内に設置した認知症看護認定看護師による「もの忘れ相談室」において、入院・外来患者からの認知症に係る相談(10件)に対応しました。
- 令和4年10月に院内に病児・病後児保育室「みどり」を開所し、適切に病児・病後児保育(延べ5人)を実施しました。
- 総合診療医の育成拠点として、研修医(延べ54人)、医学生(延べ354人)等を受け入れ、一志病院の診療圏をフィールドにした実践的な研修を提供しました。
- プライマリ・ケアエキスパートナースに係る研修会の開催(3回)等を支援し、新たに5名(県内3医療機関、うち一志病院3名)を認証しました。
- 決算においては、新型コロナの影響により入院・外来の患者数が減少したものの、新型コロナに係る検査に対応したこと等による診療単価の増により、医業収益が増加し、経常損益は10年連続の黒字となりました。(経常損益：R3 +156百万円→R4 +131百万円(△26百万円))

残された課題、今後の取組方向

- 引き続き、プライマリ・ケアの実践、訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の提供に取り組むとともに、予防医療については、住民健診後の特定保健指導を実施します。
- 消防機関や診療所等と密接に連携しながら、24時間365日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献します。
- 県内における総合診療医育成の中心的な役割を担うとともに、多職種連携の要となるプライマリ・ケア人材の育成に取り組めます。
- 「もの忘れ相談室」で対応した患者を、必要に応じて津市の認知症支援チームにつなぐなど、白山・美杉地域における地域包括ケアシステムの構築に向け連携して取り組みます。
- 新型コロナの影響等により患者数が減少していますが、訪問診療など在宅療養支援のニーズは増加していくと考えられることから、引き続き、地域の医療ニーズに対応しながら、健全な経営を続けます。

志摩病院

中期経営計画における令和4年度の目標と実績

目標項目	R2実績	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標
(1) 診療機能の充実					
1日平均入院患者数 (人/日)	172.7	167.9	187.0	166.2	187.0
1日平均外来患者数 (人/日)	254.4	254.8	291.0	258.4	265.0
1か月平均救急患者数 (人/月)	249.5	277.8	401.5	300.9	402.6
患者満足度※ (%)	71.0	65.5	95.0	92.4	95.0

※他病院との整合を図るため、令和4年度から目標項目を「患者満足度」に変更

令和4年度の取組成果

- 新型コロナへの対応については、入院病床を確保して感染患者を受け入れました。また、臨時応急処置施設に医療人材を派遣したほか、検査、発熱外来、ワクチン接種を実施しました。
- 入院診療については、一般病棟・地域包括ケア病棟・精神科病棟を運用して多様な医療ニーズに対応したほか、救急医療についても内科系患者の24時間365日の受入れを継続しましたが、患者数は同様に新型コロナの影響を受けた前年度並みとなりました。
- 外来診療について、患者数は入院診療と同様に新型コロナの影響を受けた前年度並みとなりました。なお、婦人科についてはこれまで週3日の診療としていましたが、令和4年7月の常勤医師採用に伴い週5日の診療としています。

残された課題、今後の取組方向

- 引き続き、志摩地域の中核病院としての役割・機能を担っていけるよう、指定管理者と密接に連携し、地域の医療ニーズをふまえながら診療機能の充実に取り組めます。

県立病院課

中期経営計画における令和4年度の目標と実績

目標項目	R2実績	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標
(1) 経常収支等の向上に向けた支援					
経常収支比率 (%)	112.3	124.7	102.6	113.5	101.3
医業収支比率 (%)	61.2	58.0	62.9	57.1	64.1
(2) 医師・看護師の確保					
医師充足率 (%)	82.9	83.9	100.0	83.2	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(3) 患者満足度の向上					
患者満足度 (%)	92.4	90.6	95.0	90.9	95.0

※(1)については、こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値

※(2)及び(3)については、こころの医療センター、一志病院を合計した値

2 令和4年度三重県病院事業決算の概要について

(1)－1 収益的収支

(単位：百万円、%)

	R3年度	R4年度	R4-R3	対前年度
① 病院事業収益 (A+B+C)	6,153	5,777	△375	△6.1
医業収益 A	2,351	2,372	20	+0.9
うち入院収益	1,716	1,748	32	+1.9
うち外来収益	480	473	△7	△1.5
医業外収益 B	3,802	3,406	△396	△10.4
うち一般会計繰入金	3,270	2,934	△336	△10.3
特別利益 C	—	—	—	—
② 病院事業費用 (D+E+F)	5,186	5,254	68	+1.3
医業費用 D	4,971	5,041	70	+1.4
うち給与費	2,702	2,711	9	+0.3
うち材料費	255	242	△12	△4.9
うち経費	1,416	1,507	90	+6.4
うち減価償却費	581	558	△23	△3.9
医業外費用 E	215	214	△2	△0.8
特別損失 F	—	—	—	—
③ 経常損益 (A+B) - (D+E)	967	523	△444	△45.9
④ 純損益 (①-②)	967	523	△444	△45.9

(1) - 2 経常損益の病院別内訳 (単位：百万円)

	R3年度	R4年度	R4-R3
こころの医療センター	879	450	△429
一志病院	156	131	△26
志摩病院	△69	△58	11
合計	967	523	△444

※志摩病院は指定管理者制度を導入しているため、県会計上は入院・外来収益や給与費、材料費等の経費を含んでおらず、主に減価償却費等の固定資産にかかる損益を示したものとなります。

(1) - 3 患者数の状況

(単位：人/日、%)

	入院 (1日平均)			外来 (1日平均)		
	R3年度	R4年度	R4-R3	R3年度	R4年度	R4-R3
こころの医療センター	189.9	187.1	△2.8	187.5	187.1	△0.4
一志病院	34.8	33.0	△1.8	71.1	65.7	△5.4

(参考)

志摩病院	167.9	166.2	△1.7	254.8	258.4	3.6
------	-------	-------	------	-------	-------	-----

(2) 資本的収支

(単位：百万円、%)

	R3年度	R4年度	R4-R3	対前年度
① 資本的収入	1,311	1,077	△234	△17.8
企業債	259	663	404	+155.7
県費負担金	452	410	△42	△9.2
短期貸付金返還金	600	—	△600	皆減
その他	—	4	4	皆増
② 資本的支出	1,908	1,691	△217	△11.4
建設改良費	320	685	365	+114.2
企業債償還金	703	720	17	+2.4
長期借入金償還金	285	285	—	—
長期貸付金	—	1	1	皆増
短期貸付金	600	—	△600	皆減
資本的収支差引(①-②)	△596	△613	△17	—

※各表について、四捨五入処理のため合計や差引が合わない場合があります。